



総合質管理(TQM)部ニュース

2023年10月号(第4号)



今月は、緩和ケア課とがん化学療法課の紹介です

緩和ケア課

「緩和ケアは、がんに伴う心と体のつらさを和らげます」

がんになると、体や治療の事だけではなく、仕事の事や、将来への不安などのつらさも経験すると言われています。また、緩和ケアは、がんと診断されたときから始まります。がんが進行してから始めるものではありません。そして、現在に至っては、がんに限らず生命を脅かされている疾患に罹患している患者様とその家族が対象となります。

【具体的な活動内容】

◆緩和ケアチームの活動

<メンバーのご紹介>

医師：島松 淳一郎

光安 博志

看護師：新川 恵美

薬剤師：飯干 高明、阿部 諒

栄養士：刈茅 靖子



がん患者様の身体的苦痛（痛み・呼吸困難など）、精神的苦痛（不安・不眠・せん妄など）の症状に対して、緩和ケアを提案させていただきます。

◆ACP 活動

生き方ノートを用いて、将来の医療ケアの意向確認を行っています。



◆看取りケア

院内の看取りケアの標準化を目指しています。看取りケアに関する病棟訪問も行います。

何かお困りの点、不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。(内線 8307)

(文責) 緩和ケア認定看護師 新川 恵美

がん化学療法課

がんは、日本人の2人に1人が一生のうちで何らかのがんになるといわれる身近な病気です。がん治療には、手術や放射線治療などの局所療法と薬物療法（抗がん剤など）による全身療法があり、その中のがん薬物療法の推進に取り組んでいます。

近年のがん薬物療法の動向

- 新薬の開発や使用方法も日々変容
- 分子や遺伝子レベルで個別化医療が実現
- 副作用や合併症を軽減する治療法の発展により治療の中心が外来で施行
- 医療従事者への曝露の影響が問題視されている

がん化学療法課の役割

- **安心・安全・確実な治療の提供を推進**
- 有害事象の出現や緊急時に24時間対応できる体制の構築
- 取り扱う医療従事者が抗がん剤曝露による健康被害のない環境の整備

活動内容

外来化学療法の実施

- ・外来化学療法診療科1の算定
- ・2022年度件数：214件
(治療管理を含む)
- ・意思決定支援(看護相談)
- ・内服抗がん剤指導

安心・安全な体制の整備

- ・レジメンの妥当性の評価と管理
- ・有害事象への対応(マニュアル作成)
- ・スタッフ教育
- ・抗がん剤による職業性曝露対策
など

委員会活動

- ・がん化学療法運営委員会
- ・レジメン承認委員会
- ・がん化学療法作業部会

***がん化学療法チームやスタッフと協働し、よりよい治療を提供できるよう日々精進していきます!!**

(文責) がん化学療法看護認定看護師 佐藤 絵美